

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 基準日 毎年3月31日（中間基準日 9月30日）
（そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
3. 定時株主総会 毎年6月下旬
4. 公告の方法 電子公告の方法により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL <http://www.nagahori.co.jp/>
※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

5. 株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日 9:00～17:00）
・ 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
・ 特別口座から一般口座への振替請求 ・ 単元未満株式の買取請求 ・ 住所、氏名等のご変更 ・ 特別口座の残高照会 ・ 配当金の受領方法の指定（*）	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日 9:00～17:00）
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理 人

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

6. 1単元の株式の数 100株

ウェブサイトのご紹介

www.nagahori.co.jp

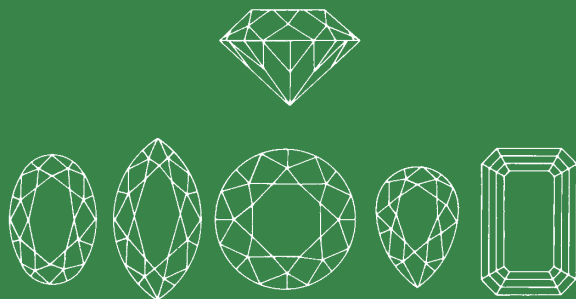
右記ウェブサイトでは最新情報をお届けしております。



第56期

事業報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日



NAGAHORI CORPORATION
www.nagahori.co.jp

株式会社 ナガホリ
www.nagahori.co.jp

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第56期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

1. 経営成績

当期における我が国経済は、政府による経済・金融政策を背景として、個人消費の伸び悩みはあるものの、企業業績や雇用環境の改善が続き全体として穏やかな成長を維持しました。しかし、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や英国のEU離脱問題、米国の政権交代による経済・貿易の不安定要素による世界経済の減速懸念など景気の先行きは、いまだ不透明感を拭えません。

ジュエリー業界におきましても個人消費は、景気の先行き不透明感の中、消費者の節約志向の流れは依然変わらず、業界を取り巻く環境は厳しい状況となりました。

このような状況の下で、当社グループは平成27年4月よりスタートさせた中期経営計画「New Stage58」の目標達成に向け、事業規模・収益拡大が見込める百貨店向け卸事業での新たな百貨店チャネルへの出店、同既存百貨店チャネルの売上拡大に繋がる富裕層向け商品企画等による同チャネルでの事業収益力を強化・企業グループとして顧客満足度の高い商品やブランド商品の開発と提案、消費者および取引先からの高い信頼を得られるよう積極的な営業活動を展開する一方、営業収益を含めた業績面での改善を図るべく、業績不振の直営小売部門の不採算店舗の縮小・整理、本業の宝飾事業とシナジー効果の少ない健康産業事業を直営形態から施設賃貸業への転換を行うなどコスト削減を徹底し、「選択と集中」を強力に進めてまいりました。

この結果、当社グループの当期の売上高は215億39百万円（前期比0.2%減少）、営業利益は1億45百万円（前年同期 営業損失72百万円）、経常利益は94百万円（前年同期 経常損失75百万円）、貸倒引当金繰入額52百万円、また次期閉店予定店舗等に係る減損損失71百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は51百万円（前年同期 親会社株主に帰属する当期純損失9億92百万円）となりました。

2. 配当について

当期の中間配当につきましては、遺憾ながら配当を見送りとさせていただきますが、期末配当金は1株当たり7円の普通配当とさせていただきます。当社は、株主の皆様に対し安定した配当を継続して行くことを配当の基本方針としております。

3. 今後の見通し

個人消費を取り巻く環境は、景気の先行き不透明感が続く中、富裕層の消費マインドには大きな変化は少なく消費の二極化は継続するものの、全体として消費者の節約志向による消費マインドの低下の流れは依然変わらないものと予想されます。

このような状況を踏まえ対応するため「選択と集中」、「コストの削減と収益性の向上」、「量より質の追求」を重点施策の基本とし、更なる不採算な事業、取扱い業務等の縮小整理を推進し、また一方では将来性が見込める事業、取扱い業務等については、経営資源の集中を行い収益部門の育成と収益確保に努めてまいります。

当社グループにおきましても、グループ事業全体の売上・収益を向上させるため、グループ間もシナジー効果を最大限に発揮できるようグループ間での「選択と集中」も進めてまいります。

次期の予想といたしましては、当社グループの連結売上高200億円、営業利益1億8千万円、経常利益1億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を計画しております。

以上、業績の概況につきましてご報告申し上げますが、株主の皆様のご要望、ご期待に沿えるよう努力してまいりますので、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月



代表取締役
社長 長

長堀慶太

トピックス

Maison de NADIA In GINZA SIX フラッグシップストア オープンいたしました

Maison de NADIA (メゾン・ド・ナディア) 本物を愛する大人の女性のジュエリーボックス

歴史と伝統に裏打ちされた熟練の技術、他に類をみない独創的で洗練されたデザイン、コレクター垂涎の希少なジュエリストーン、エッジのきいた上質で遊び心溢れるクリエイション……。老舗のメゾンの不朽の名作から、ファッションистタの熱い視線を浴びる革新的でモードなデザインまで、人生を豊かにしてくれる極上のジュエリーを、国内外からセレクトしました。

本物を愛し、確固たるスタイルをもつ、自由な大人の女性のためのファインジュエリーブティック、Maison de NADIAを2017年4月GINZA SIXにオープンいたしました。



Maison de NADIA (メゾン・ド・ナディア)
東京都中央区銀座6丁目10番1号 GINZA SIX2階
www.maison-de-nadia.jewelry

フォーエバーマーク 新シリーズ販売開始

フォーエバーマーク‘Two D’コレクションが6月下旬より全国の百貨店、宝飾専門店にて販売を開始いたしました。

フォーエバーマーク ダイヤモンドが2粒つながったデザインで、『Two』には2人と2つ、『D』にはDiamondとDear（大切な人）の意味が込められています。

身に着けることで、夫婦、恋人だけでなく、親子や兄弟姉妹、そして親友など、心の通ったDear（大切な人）の存在を日々感じられるジュエリーです。

TV広告、雑誌広告、SNS等の宣伝広告も多く予定しております。

当社では品質を重視して自社工場で一貫生産、今年のダイヤモンドジュエリーの主力商品として、販売の強化につとめてまいります。

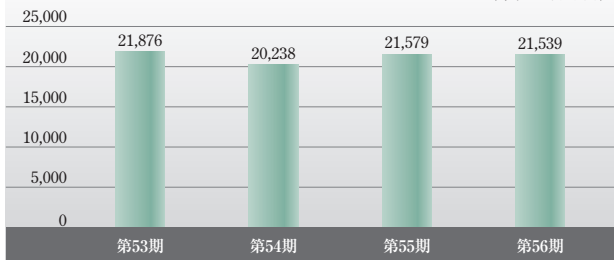


当社は、消費者から信頼されるチャレンジ精神旺盛なジュエリー業界のトータルマーケットターとして企業努力を重ねてまいります。

業績の推移（連結）

売上高

（単位：百万円）



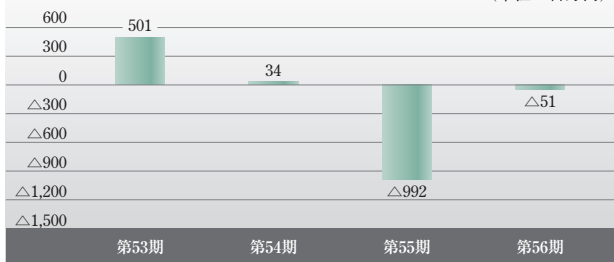
経常利益

（単位：百万円）



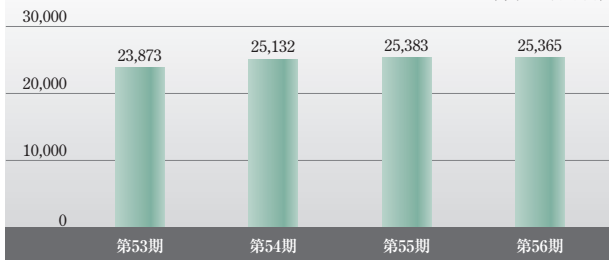
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



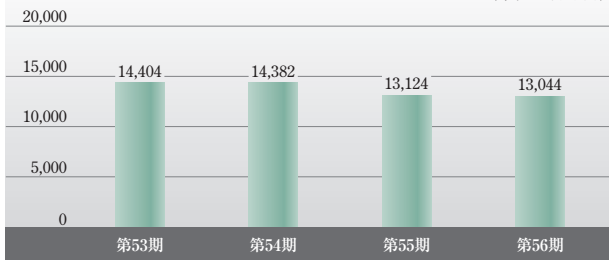
総資産

（単位：百万円）



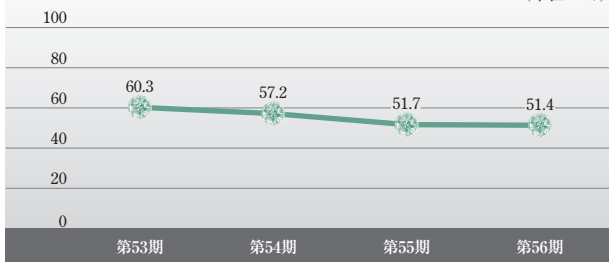
純資産

（単位：百万円）



自己資本比率

（単位：％）



連結財務諸表

連結貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	17,126,309	流動負債	10,258,791
現金及び預金	1,161,347	支払手形及び買掛金	1,333,150
受取手形及び売掛金	2,475,934	短期借入金	8,013,000
商品及び製品	12,162,932	1年内返済予定の長期借入金	177,068
仕掛品	245,561	未払法人税等	137,664
原材料及び貯蔵品	919,662	賞与引当金	109,955
繰延税金資産	48,011	役員賞与引当金	2,800
その他	128,316	その他	485,153
貸倒引当金	△15,456	固定負債	2,062,672
固定資産	8,239,185	長期借入金	940,400
有形固定資産	6,160,584	退職給付に係る負債	561,322
建物及び構築物	1,982,726	役員退職慰労引当金	149,135
機械装置及び運搬具	267,989	繰延税金負債	45,159
土地	3,461,417	再評価に係る繰延税金負債	48,841
建設仮勘定	15,789	その他	317,814
その他	432,661	負債合計	12,321,464
無形固定資産	144,708	純資産の部	
投資その他の資産	1,933,892	株主資本	13,787,201
投資有価証券	869,180	資本金	5,323,965
長期貸付金	34,765	資本剰余金	6,275,173
繰延税金資産	339	利益剰余金	2,669,468
その他	1,159,250	自己株式	△481,405
貸倒引当金	△129,644	その他の包括利益累計額	△743,170
		その他有価証券評価差額金	95,153
		土地再評価差額金	△853,614
		為替換算調整勘定	15,289
		純資産合計	13,044,030
資産合計	25,365,495	負債純資産合計	25,365,495

連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額
売上高	21,539,858
売上原価	15,024,005
売上総利益	6,515,852
販売費及び一般管理費	6,370,767
営業利益	145,085
営業外収益	54,052
営業外費用	104,805
経常利益	94,331
特別利益	29,355
特別損失	155,292
税金等調整前当期純損失	△31,605
法人税、住民税及び事業税	112,366
法人税等調整額	△91,988
法人税等合計	20,377
当期純損失	△51,983
親会社株主に帰属する当期純損失	△51,983

会社概要 (平成29年3月31日現在)

社 名 株式会社ナガホリ
NAGAHORI CORPORATION

本 社 〒110-8546 東京都台東区上野一丁目15番3号
TEL 03-3832-8266

設 立 昭和37年

資 本 金 53億2,396万円

グループ事業内容 宝石・真珠・貴金属製品の輸出入、製造加工および国内・国外販売、貸ビル事業ならびに太陽光発電事業

■事業所

名 称	所 在 地	電 話 番 号
本 社	東 京 都 台 東 区	03-3832-8266
福 岡	福 岡 市 博 多 区	092-262-3001
大 阪	大 阪 市 中 央 区	06-6241-1741
アトリエ ド モバラ	千 葉 県 茂 原 市	0475-34-5251

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 16,773,376株 (自己株式1,437,733株を含む)
株 主 数 3,601名

■大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有 限 会 社 エ ム エ フ 長 堀	1,180	7.7
長 堀 ク リ エ イ ト 株 式 会 社	800	5.2
株 式 会 社 り そ な 銀 行	766	5.0
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社	704	4.6
長 堀 守 弘	573	3.7
株 式 会 社 常 陽 銀 行	534	3.5
長 堀 慶 太	525	3.4
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	407	2.7
長 堀 不 二 代	373	2.4
株 式 会 社 北 陸 銀 行	332	2.2

(注) 1. 持株比率は自己株式 (1,437,733株) を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式1,437,733株を保有しておりますが、上記大株主には含めておりません。

役員 (平成29年6月27日現在)

代表取締役社長 長 堀 慶 太
常務取締役 田 端 馨
取 締 役 白 川 文 彦
取締役 (社外) 富 樫 直 記
常勤監査役 (社外) 篠 原 繁
監査役 (社外) 佐 藤 亮 輔
監査役 (社外) 岩 上 和 道

会 計 監 査 人 監査法人 日本橋事務所